

## 市立銚子高校

## 同窓会だより

還暦同窓会  
復活に向けて！同窓会長  
濱野 恭一

同窓会員の皆さまには、  
ますますご健勝のこととお  
慶び申し上げます。また、  
日頃から同窓会活動にご理  
解、ご協力を賜り厚く御礼  
申し上げます。

私は昨年の7月から同窓  
会会長を務めさせて頂き、  
丁度1年余りが経過した状  
況でございます。その間、  
主だった行事として同窓会  
入会式、卒業証書授与式、  
入学式、幹事会、総会等に  
出席させて頂きました。

特に卒業証書授与式にお  
きましては、同窓生でもあ  
る越川信一・銚子市長の次  
に祝辞を述べさせて頂きま  
して、不慣れと緊張の中、  
何とか無事に務めることが  
できました。

また総会におきましては、  
同じく同窓生である帝国ホ  
テル常務執行役員・総料理  
長兼東京料理長の杉本雄氏  
を講師にお招きして「ラゲ  
ジュアリー×サステナビリ  
ティ」と題した講演をして  
頂きました。

皆さまご存じの通り、杉  
本様はNHKの「きょうの  
料理」に出演されるなど大  
変お忙しい方で、その中を  
母校のために来て頂いてお  
話をしてくださるのはとて  
もありがたいことです。講  
演の後の質問に対しても、  
真摯に誠実に応えている姿

銚子市立銚子高等学校  
同窓会報  
第18号

## 発行

銚子市春日町2689番地  
TEL 0479 (25) 0311  
FAX 0479 (23) 4441  
市立銚子高校同窓会  
発行責任者 濱野 恭一 夫  
編集 長 片山 貴 夫  
印刷  
三友舎印刷

思っておりまして。しかし、  
事務局から60歳と65歳の方  
を同時に実施する方法であ  
れば、何とか復活できるの  
ではないか、という提案を  
頂きました。

今年度は60歳と65歳、来  
年度は現在59歳と64歳、再  
来年度は現在58歳と63歳と  
いうように組み合わせしてい  
けば、5年で未実施学年が  
なくなりません。最後に昭和  
63年卒業の方になりますの  
で、昭和の卒業生に決まり  
が着く形にもなります。

60歳と65歳というのは、  
人生においても一つの大き  
な節目の年になると思いま  
す。退職や転職、或いは新  
しく起業をするとか、また  
年金を受け取る等、変化が

ある時でもあり、そこで新  
たな出会いやきっかけ等が  
旧友に会うことで始まるか  
もしれません。

また我が校のことを考えて  
みますと、今年65歳になられ  
る方々には西高の1期生の方  
がいらっしゃると思いますので、こ  
の大事な方たちをコロナのせ  
いで蔑ろにすることはできま  
せん。何とか復活させたいと  
考えておりますので、皆さま  
のご協力を宜しくお願い申し  
上げます。

結びに、皆さまのご指導、  
ご鞭撻、ご協力をお願いする  
とともに、皆さまのご多幸と  
ご活躍を祈念申し上げます。



## 同窓会会員数（卒業生総数）

	回数	計
旧制中学校	8	668
併設中学校	2	51
旧銚子普通科	60	18,575
高等学校工業科	48	3,500
旧銚子中学・高校合計		22,794
銚子西高等学校普通科	30	6,547
銚子西高等学校看護科	29	1,169
銚子西高等学校(専攻科)	2	※73
銚子西高校合計		7,716
銚子普通科	17	4,847
銚子理数科	15	589
銚子看護科	2	77
銚子(専攻科)	4	※141
総合計		35,755

※専攻科は全員本校看護科卒業生（平成31年3月）



受け継ぎ、  
進化する伝統



校長 賀達也 志賀

清々しい秋風が心地よく感じられる今日この頃、同窓会員の皆さまにおかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より、本校の教育活動に深いご理解と温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

今年度より校長として着任いたしました志賀達也と申します。私は本校の同窓生ではありませんが、本校とはつながりが深く、過去に教諭とし

て9年間(旧銚子西高校および統合後の市立銚子高校)、教頭として3年間勤め、このたび校長として再びこの地に戻ってまいりました。市立銚子高校との深いご縁を、あらためて実感しているところです。

さて、旧市立銚子高校の正門は現在「南門」と名前を変え、今も生徒たちの通学路として使われております。門へと続く急な坂道には、かつてと変わらぬ亀甲模様の滑り止めが施され、「亀甲坂」という呼び名で親しまれていました。木々に包まれたその坂は、夏の日差しをやわらげる涼やかなトンネルのようで、登校する生徒たちにとつて小さな非日常の空間となっていました。

その亀甲坂を登りきると、統合前の二つの高校の校歌を刻んだ石碑がひっそりとたたずみ、静かに歴史を語りかけてきます。また、旧銚子西高校時代に部活動で県大会を制覇し、全国大会出場を果たしたことを記念する「無欲の勝利」や「櫻(たすき)」の石碑、さらには校訓「和」の石碑も設置されており、本校の礎を築いてこられた皆さまの足跡と誇りが、今も確かに息づいて

ています。

今年4月には、240名(6クラス)の新入生を迎え、全校生徒数は744名となりました。統合から17年目を迎えた本校は、生徒数減少の波をものともせず、学習・行事・部活動において日々活気に満ちています。6月に開催された「市銚祭」では、一般公開日となった21日(土)の来場者数は2000名を超え、生徒たちは、展示や発表、模擬店を通して学びの成果を地域の皆さまに披露し、多くの笑顔と交流があふれる、かけがえのない一日となりました。

また、部活動の加入率は90%を超え、生徒たちはそれぞれの目標に向かって日々努力を重ねています。本年度は、陸上競技部(3年・男子ハンマー投げ)および特別部(体操競技・2年・男子個人総合)が関東大会に出場し、それぞれの舞台上で市立銚子高校の誇りを胸に、力強い投てきや演技を披露してくれました。

こうした生徒たちのたゆまぬ挑戦と成長の背景には、同窓会員の皆さまが築き上げてこられた伝統、そして地域に根ざし、地域から長年にわたって寄せられてきた厚い信頼があります。私たち教職員一同

は、その大切なバトンをしつかりと受け継ぎ、生徒一人ひとりの「夢をカタチに」する教育に、これからも全力で取り組んでまいります。

今後とも本校への変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。ご健勝とご多幸、そして更なるご活躍を心よりお祈り申し上げます。



## 関東大会出場報告

第74回関東高等学校体操競技・新体操選手権大会  
特別部(体操競技)2D 伊藤 混人

本年度、千葉県高等学校体操競技大会にて個人第3位の成績を収め、第74回関東高等学校体操競技大会に出場することが出来ました。本校は体操競技部がないため、特別部として出場しています。伊藤選手は小中と体操競技を続け、高校でも継続して競技を続けたいという希望で、県立銚子商業高等学校の体操競技部と合同で練習しており、県立銚子高校は団体、伊藤選手

は個人で関東大会出場が決まり、本当に喜んでいました。

大会出発前、クラスで壮行会が開かれ、クラスメイトから激励寄せ書きTシャツをプレゼントされ、涙が出るほどうれしかったと語っていました。

今年度の関東大会は、茨城県笠松運動公園体育館で開催されました。体操競技は、跳馬、平行棒、鉄棒、床、鞍馬、つり輪の6種目で競技点数を競い合います。他県の5名の選手と共に各種目一発勝負で競技していきます。前日から会場入りし、普段から一緒に練習している銚子商業の生徒と共にリラックスした雰囲気での練習できました。

競技当日は、跳馬からスタートしました。得意の伸身ツカハラから入りましたが、緊張から着地が上手くいかず、ふらついてしまいました。鉄棒、床と徐々に緊張もほぐれ、床では側転↓バク転↓バク宙をピタッと決め、良い演技が出来ていました。鞍馬、平行棒、つり輪と力技もこなした6種目全ての競技が終わり、同じ組で回っていた選手と共に励まし合い、健闘を讃え合いながら競技を進めていくところは、他

の競技にない礼儀作法なのだ  
だと実感しました。伊藤選手  
は2年生、今後の活躍に期待  
しています。



陸上競技部 高野優選手  
関東大会出場！

陸上競技部顧問 及川直紀

本年度、陸上競技部は6種  
目に延べ8名が出場し、県大  
会に挑戦しました。その中で、  
男子ハンマー投げに出場した  
高野優選手が見事4位に入賞  
し、関東大会への出場を果た  
しました。

地区大会では自己ベストと  
なる39mを記録しましたが、  
県大会で上位6位以内に入る  
には厳しい状況でした。残さ  
れた2週間、高野選手は投げ  
方の見直しをはじめ、できる  
限りの工夫と努力を重ねて臨  
みました。



そして迎えた県大会本番。  
高野選手は46m89という素晴  
らしい記録を叩き出し、堂々の  
4位入賞。関東大会への切符を  
手にしました。栃木県で開催さ  
れた関東大会では、45m74と  
安定した記録を残し、22人中  
12位という好成绩を収めまし  
た。日頃から廊下や教室でも  
ターンの練習に励む高野選手  
の姿は、部員や教職員の間で  
も印象的でした。そのひたむ  
きな努力が実を結んだ今回の  
成果は、「努力は決して裏切ら  
ない」という言葉を改めて実  
感させてくれるものでした。

また、高野選手を支えてく  
ださった先生方、仲間、ご家  
族、そして同窓会の皆様の温  
かい応援に、心より感謝申し  
上げます。皆様のご支援が、  
彼の挑戦を力強く後押しして  
くださいました。

今後も、陸上競技部のさら  
なる活躍にご期待ください。

部活動名	部員数	
	男子	女子
卓球	15	8
バドミントン女子	0	21
バドミントン男子	40	1
ラグビー	0	0
サッカー	25	3
弓道	11	21
陸上競技	15	10
剣道	1	1
柔道	0	0
バスケットボール女子	0	32
バスケットボール男子	33	4
バレーボール女子	0	17
バレーボール男子	27	3
硬式テニス	24	16
ソフトテニス	12	9
野球	28	3

※5月現在

合計	生徒会本部	家庭同好会	合唱	JRC	茶道	吹奏楽	演劇	美術	書道	写真	英語	文芸	華道	科学	水泳	空手道
325	3	4	1	18	7	13	3	3	1	5	7	3	1	15	5	5
354	6	16	5	12	28	36	12	12	10	17	13	14	10	2	0	13

### 令和6年度進学状況

種別	普通	理数
国公立大学	30	15
国立大学校・短大	0	0
私立大学	161	24
私立短大	4	0
専門学校	12	2

### 進学(合格)

(国公立大57) ※( )内は浪人生  
北見工大2、秋田大1、山形大2、  
福島大1、茨城大6、筑波大1、  
宇都宮大1、埼玉大3、千葉大4、  
東京学芸大2、新潟大2、奈良教  
育大1、鹿児島大1、福島県立医  
科大1(1)、釧路公立大2、宮城  
大1、山形県米沢栄大1、会津大1、  
前橋工科大1、高崎経大2、埼玉  
県立大3、千葉保健医療大8、東京  
都立1、山梨県立大1、都留文科  
大3、諏訪東京理大1、滋賀県立  
大1、神戸市外大1、県立広島大1、  
高知工科大1

### (私立大学68)

学習院大1、明治大6、青山学院  
大7、立教大5、中央大14(1)、  
法政大7(2)、成蹊大8、明治学  
院大15、武蔵大18、日本大43(1)、  
東洋大43、駒澤大8(1)、専修大  
16、北里大4、順天堂大7、国際  
医療福祉大34、千葉科学大8 他

### 就職

(民間企業1)  
一般財団法人航空保安事業センタ  
(公務員4)  
多古町役場 警察庁、神栖市役所  
東京消防庁

## Event!

## 学校行事紹介

5月28日、29日に球技大会、6月20日、21日に市銚祭（文化祭）が開催されました。たくさんの来場者の方をお迎えし、生徒達は躍動感あふれるパフォーマンスや各団体の個性溢れる出し物・作品を見せられました。2年次生は10月末に修学旅行を控えています。



文化祭



球技大会



文化祭



球技大会



文化祭

## ★ 職業人講話 ★

1年生を対象とした、卒業生による職業に関する授業を10月9日(木)に行う予定です。講師の皆さんです。(敬称略)

番号	お名前（敬称略）	所 属	業種・系統
1	袖山 一帆（H18. 卒）	袖山法律事務所	弁護士
2	勝浦 瑞貴（H25. 卒）	松戸市立総合医療センター	医者
3	岩田 佳之（H9. 卒）	国保旭中央病院	薬剤師
4	阿瀬 貴博（H7. 卒）	東京大学 大気海洋研究所	研究員
5	植田 悠吾（H24. 卒）	総合化学メーカー	会社員
6	植田 桃子（H24. 卒）	千葉県内小学校	教員
7	新倉 昭仁（R4. 卒）	千葉県警察市川警察署	警察官
8	佐久間 快枝（H2. 卒）	チョウシ・チアーズ株式会社	起業家
9	坂尾 英彦（H12. 卒）	Hennery Farm	農家
10	谷川 晃熙（H30. 卒）	tokiyori.cafe	起業家
11	鈴木 香菜（H21. 卒）	日比谷花壇	フラワーデザイナー

ホームページ開設のお知らせ



市立銚子高校同窓会



住所変更もできます！  
同窓会だよりバックナンバーも  
ご覧いただけます！！

令和7年度 同窓会 会計		
(単位 円)		
収 入 金 額		5,716,915
支 出 金 額		5,119,976
差 引 残 高		596,939

収入の部		
(単位 円)		
項 目	本年度予算額	前年度決算額
1 入 会 金	1,092,000	1,072,000
2 会 費	1,000,000	1,158,000
3 財政調整金	2,000,000	2,000,000
4 繰 越 金	672,786	672,786
5 繰 入 金	700,000	700,000
6 雑 収 入	2,214	114,129
収 入 合 計	5,467,000	5,716,915

支出の部		
(単位 円)		
項 目	本年度予算額	前年度決算額
1 卒業記念品費	180,000	176,988
2 生徒活動支援費	300,000	234,550
3 行事補助費	60,000	47,960
4 会 運 営 費	52,000	22,476
5 会 議 費	100,000	110,591
6 委員会費	25,000	24,960
7 接待交際費	30,000	30,000
8 印 刷 費	650,000	510,543
9 通信運搬費	1,700,000	1,871,908
10 奨 励 金	100,000	90,000
11 慶 弔 費	50,000	0
12 財政調整金	2,000,000	2,000,000
13 予 備 費	220,000	0
支 出 合 計	5,467,000	5,119,976

令和7年度 同窓会基金 会計		
(単位 円)		
収 入 金 額		8,037,795
支 出 金 額		3,139,725
差 引 残 高		4,898,070

収入の部		
(単位 円)		
項 目	本年度予算額	前年度決算額
1 繰 越 金	6,036,942	6,036,942
2 積 立 金	0	0
3 財政調整金	2,000,000	2,000,000
4 雑 収 入	3,058	853
収 入 合 計	8,040,000	8,037,795

支出の部		
(単位 円)		
項 目	本年度予算額	前年度決算額
1 繰 出 金	700,000	700,000
2 財政調整金	2,000,000	2,000,000
3 施設整備費	500,000	439,725
支 出 合 計	3,200,000	3,139,725

同窓会 REPORT

7月12日(土)午後3時から「銚子プラザホテル」において、総会・講演会・懇親会が開催されました。

総会では、令和6年度事業・決算の承認と、令和7年度の事業計画・予算案が承認されました。

講演会では、帝国ホテル常務執行役員・総料理長兼東京料理長 杉本雄氏が「ラグジュアリー×サステナビリティ」と題して講演されました。

懇親会では、数年ぶりに会う旧友との再会を喜び、大いに盛り上がり、旧交を温めました。



令和6年度同窓会事業報告											
4月9日(火)	入学式(同窓会長出席)	本校	4月19日(金)	教職員歓送迎会(来賓不参加)	モンベルジェ	5月10日(金)	第1回執行部会議(事業・会計・総会・幹事会・役員他)	本校	5月31日(金)	第2回執行部会議(事業・役員他)	本校
6月8日(土)	第1回幹事会(事業・会計・役員他)	本校	6月16日(日)	東京支部総会	学士会館	7月21日(日)	総会・講演会・懇親会	銚子プラザホテル	10月1日(火)	「同窓会だより」(第17号)発行 発送先…会費納入者と左記の卒業年の同窓生 ・昭和48年以前(70歳以上) ・昭和53、57、58、59、63年 ・平成5、10、15、20、25、30年 ・令和5、6年	
11月15日(金)	第3回執行部会議(事業総括・地元幹事会・来年度予定他)	本校	2月8日(土)	地元幹事会	銚子プラザホテル	3月4日(火)	同窓会入会式(同窓会長出席)	本校	3月5日(水)	卒業証書授与式(同窓会長出席)	本校

令和7年度 同窓会役員		
役 職	氏 名	卒 年
会 長	濱 野 恭 一	昭和53年
副 会 長	伊 藤 雅 詞	昭和63年
副 会 長	江 畑 雅 充	昭和45年
副 会 長	島 田 洋 二 郎	昭和48年
副 会 長	浅 野 裕 子	昭和54年
副 会 長	伊 東 均	昭和56年
副 会 長	笹 本 尚 子	昭和56年
副 会 長	伊 東 正 博	平成2年
副 会 長	浪 川 俊 一	平成2年
事 務 局 長	鵜 澤 健 太	平成25年
事 務 局 次 長	宮 穂 和 浩	平成16年
会 計	加 瀬 舜 祐	平成23年
会 計	小 林 史	平成26年

役 職	氏 名	卒 年
会 計 監 査	野 口 祐 子	平成16年
会 計 監 査	成 毛 一 真	平成21年
総 務 委 員 長	浅 野 裕 子	昭和54年
広 報 委 員 長	片 山 貴 夫	平成2年
事 業 委 員 長	島 田 洋 二 郎	昭和48年
顧 問	信 田 臣 一	昭和38年
顧 問	宮 内 敏	昭和36年
顧 問	杉 山 俊 明	昭和44年
顧 問	伊 勢 崎 翼	昭和47年
顧 問 (校 長)	志 賀 達 也	
顧 問 (教 頭)	佐 々 木 理	
顧 問 (事 務 長)	鴨 作 き よ 美	昭和61年

## あの入・この入 どう違うのですか？

### アムステルダムより



三角 千絵  
(H元年卒)

卒業生の皆さん、お元気ですか？市立銚子高校同窓会だよりに寄稿する機会をいただき、懐かしい学び舎に思いを馳せています。貴重な機会をいただきありがとうございます。

さて、私は現在、オランダのアムステルダム市にある大学で多文化間コミュニケーションを教えています。大学卒業後、アメリカに渡り、スペイン、そして現在はオランダに住んでいます。異文化が交差するこの場所で、世界中から集まる大学生と共に学び、成長できる毎日には刺激的で本当に楽しい日々です。

### 自由気ままな日々が

#### 育んだもの

高校での私は、正直なところ、勉強もろくにせず本当に

自由に過ごしていました。授業中におしゃべりばかりして先生たちから「みすみ」と何度も注意されたこと、化学はいつも赤点ばかりで、テストのたびに先生に「お願い、点数おまけして！」と懇願していたのも良い思い出です（でも一度もおまけしてくれなかったなあ笑）。硬式テニス部では、皆が一緒に頑張って炎天下で真っ黒になりながらボールを追いかけた日々、とても懐かしく思います。

そんな私でしたが、先生方はいつも温かく見守ってくれました。中でも鮮明に覚えているのは、私が「女子大に行きたい」とある先生に話したから「女子大に行ったらみすみは大学を辞めることになるぞー」と言われたのです。当時の私はピンと来ていませんでしたが、今思えば、こうして世界中の多様な人々と交流し、刺激を受けている私の性格を、先生は既に見抜いていたのかもしれない。（ちなみに女子大は無事に卒業しました笑）

### あの頃の「自由」が

#### 今の私に繋がる

現在も様々な経験を通して

て、自分自身が成長できているのも、高校で出会った恩師や友人たちが自由奔放な私を暖かく見守ってくださったおかげだと心から感謝しております。一人ひとりを大切に、個人がやりたいことをサポートしてくれる校風がありました。今はそんな母校に恩返しがしたくて、毎年、スタディーツアーと称してオランダの大学生を銚子に連れてきて、母校の高校生と交流させています。この交流が、未来を担う彼らの視野を広げ、世界には色々な考えをもつ人たちがいて、そんな人たちと関わることは楽しい事なんだ、と少しでも感じてくれれば幸いです。

なかなか会う機会は少ないかもしれませんが、皆さんがそれぞれの場所で輝いていることを願っています。いつかまた、どこかでお会いできる日を楽しみにしています。どうかお体に気を付けて、皆さんお元気で過ごしてください。



## 一〇〇年続く事業を 目指して



坐古 拓也  
(H16年卒)

早いもので自身が市立銚子高校を卒業してから21年が経過しました。現在私は、代表をする会社で銚子市初のワイナリーをオープンし2023年から醸造、今年から銚子市でのぶどう栽培に着手しております。私自身、まさかそんな日が来るとは夢にも思っておりませんでした。在学当時の私は甲子園出場を目指し、とにかく野球に明け暮れた日々で真っ黒な肌と坊主頭での生活が私の青春時代でした。勉強は努力不足により入学後に成績は右肩下がりで、3年次には赤点を取らないだけの勉強のみでしたが、恩師のお陰で何とか大学に進学することができました。大学でも細々と野球を続け、新卒でIT関連企業に就職、その後Uターンにて2018年に地元銚子での生活を開始しました。東京での生活も非常に楽しく捨てがたかったのです

が、授かっていた子供たちの子育てや自身の今後の人生の意義を考え、銚子の家業に戻ることに決意しました。

家業は1921年、千葉県銚子市にて曾祖父が「座古萬蔵商店」を創業しました。当時は米の小売業からスタート、現在は主に水産加工や食品メーカーのお客様に対して、調味料などの原材料や薬品類を供給する仕事です。当社が商品企画段階から一緒に商品が全国に流通されることも多く、やりがいを感じます。しかしながら、この100年では様々なことがあり、一度は会社の資産や屋号が無くなることもありました。そんな中でも、地域や親戚に支えられて何とか事業をこの地で続けられてきました。ワイン造りを開始したのは、その100年分の恩返し、その100年分の恩返しにスタートラインです。自社の事業にも地域にも良い事業にワイン造りを選びました。先祖が残した経営理念にも記されている方針と自身の直感でそう決めました。この事業は次の100年まで続けられるものであり、ワインが持つロマンに惹きつけられた人々が集まり、更なる事業体を

作っていききたいという想いが込められています。ワインのブランドはフレッジシップの「KISSAKI」カジュアルラインの「漁師は歌う」があります。「漁師は歌う」のエチケットラベルには漁師が肩を組んで歌う姿が描かれています。それは大漁であることを意味し、魚があることで仲卸業、水産加工業、飲食業、自社を含むその他の事業者が動き出し、町全体が潤います。つまり大漁を祝い、酒を飲んで歌う漁師さんがいることが銚子の町が良い状態だと思うのです。私たちが作るワインは、そんな彼らに最大のリスクペクトを込めたワインです。同窓の皆様にも私たちの想いが詰まったワインをお試しいただけると嬉しいのです。

### 憧れの看護資格を 西高で

柿内 雅代 (旧姓高安)  
(百元年卒)

私は昭和60年4月に看護師を目指して衛生看護科に入学しました。小学生の頃より憧れ、中学生になると衛生看護科に入る以外の選択肢は考えていませんでした。衛生看護

科は学校を卒業すると看護師の資格がもらえるものではありません。高校の授業と並行して、看護師となるべく基礎知識を学び、高校三年の3月に准看護師の試験を受け、合格すると県知事からの資格証を受け取ることができます。正看護師となるにはさらに専門学校や大学で学習して、資格試験を受験し合格すると厚生大臣から資格証を受けることができます。衛生看護科は最短で看護師となることのできるコースでした。

西高には普通科と衛生看護科がありました。教室は女子校、教室の外は共学校。そんなイメージでしょうか。校舎には看護棟があり、看護の基礎となる知識を担当の先生方が優しく楽しく、時に厳しく指導してくださいました。階段式となった教室では現役医師が講師として来校し、解剖学や微生物学など専門分野の授業を受けることができました。また実習ができるようにベッドの設置がされており、シーツ交換や体位交換などの基礎実習に向けて、生徒同士で学ぶことができる環境が整っていました。学校で学びきれないことを実習として、

銚子市立病院や旭中央病院へ行きます。直接患者さんと接する機会をいただくことになりませんが、その準備のためにたくさん事前学習と手順書を作成し、緊張しながら病院へ行ったことを覚えていきます。実習後の記録を提出するのでも大変でしたが、高校生の無資格の自分に患者さんからの「頑張つてね」「ありがとうね」の温かい言葉がうれしく、救われた気持ちとなりました。

現在は西高の校名も校舎もなくなつてしまいましたが、衛生看護科が銚子市内に存在し最短で看護師の資格が取れたこと、自分が過ごした高校生活は普通の高校生では経験できない特別な時間であったことに、感謝しています。

### 62年の時を超えて



石毛幸美・美津子 (旧姓佐野)  
(S38年卒)

列車を降り、お山迄の道を日々単語帳片手に友と談笑して歩いた三年間をゆっくりと想い出してみました。久々開

いた卒業アルバムに没入：…昭和38年卒業し、あれから62年の歳月。

私が入学した年に初めて女子の制服が出来たのです。学枝玄関口に有ったマネキンが焦茶色の素敵な制服を纏い出迎えてくれた事を今でも良く覚えていきます。そしてこの年もう一つ、工業科が設立されたのです。初めての工業科に女子は一名、体育の授業等は私達普通科の女子と一緒に受けたものです。工業科実験棟で時折見かけた白衣姿がとても新鮮で輝いて見えたものでしたが、時に何とも云えぬ薬品の臭さが漂うのは苦手でした(笑)

男子の学帽には白線が二本有り、川端康成の伊豆の踊り子の学帽を模したとか？その白線は学年を重ねると少しずつ細くなつていき、当時のお洒落だったのか白線を抜き、学帽で皮靴を磨きテカらせるのは先輩の証だったのかも知れませんが。

また、忘れられないのは生活指導部「鬼の長谷川」と恐れられた厳しい先生の皮のスリッパで廊下を歩く音は今も耳に残っています。

お山は、クラスを組ではな

くH(ホーム)と呼ぶことが都会的に感じ好きでした。現在もそう呼んでいるのでしょうか？

私の所属した図書委員会の部屋にはスポーツ新聞が沢山あったのですが、毎日それを目当てに読みに来る男子がいました。そうですこの方こそが私の主人となった人なのです。旭の中学から女子で初めてお山へ入学し(と記憶しています)今81年の人生の中、紆余曲折は有りましたが、同級生と結婚し58年と云う年月を共に過ごせています。教師になりたくて選んだお山で、蕎麦屋の跡継ぎの主人と出逢い、二人三脚、大病もせず人に恵まれ一生懸命に蕎麦屋のおかみさんとして倅に生きて居ます。これからも残りの人生を二人で笑顔絶やさず過ごして行けたらと思います。時折お山の卒業アルバムを開いて微笑みながら・・・。

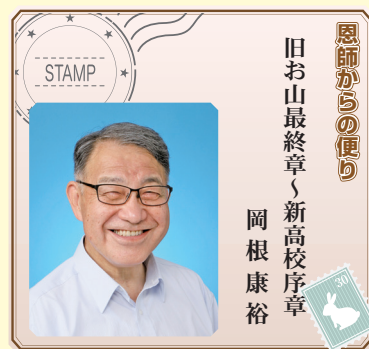
このコーナーは、同窓生皆さんの近況報告や思い出、ご意見などをお寄せいただくページです。皆さんの周りで活躍されている同窓会員の情報や近況など気軽に寄せてください。  
同窓会事務局  
(銚子市立銚子高等学校)  
TEL 0479-12510311  
FAX 0479-12314441



# 恩師からの便り

旧お山最終章〜新高校序章

岡根 康裕



私は2004（平成16）年4月から2015（平成27）年3月まで旧市立、新市立高校に在職し、今年4月から非常勤講師として再び本校に勤務している。10年ぶりの職場は、20歳代〜40歳代の若い先生が多く、活気がある。生徒は落ち着いていて、思いやりと分別と向上心がある。

2004年に着任したときは、自由奔放な生徒が多かった。本校の生徒として、クラスの一人としての自覚を持ち、協力して課題の解決に向けて取り組めるよう指導した。今はそれぞれの道で元気にやっていることと思います。11年間の在職中は総務部の副部長、部長を務め、部活動はバドミントン部顧問を務めた。

土日もバドミントンに明け暮れた。

着任後最初の4年間は、旧お山の最後の時期で、70周年記念式典、記念誌の編集・発行、旧銚子西高校への引越し準備、両校のPTAや同窓会の統合準備、工業化学科の閉科など、行事や準備の業務が続いた。新高校の制服、校章、校歌も新たに定められた。

新市立高校は、野尻台の旧銚子西高校でスタートし、教室の不足分はプレハブ3階建ての校舎を増築してはじまった。第3学年12クラス（普通科11、看護科1）、第2学年9クラス（普通科8、看護科1）、第1学年普通科8クラス、（看護）専攻科2クラスの全31クラスの大規模校だった。統合宣言式で始まり、入学式と校歌披露式、統合記念式典、校歌の作詞者村田さち子氏の記念講演と続いた。2010（平成22）年の夏休みに春日台の新校舎へ引っ越し、新校舎落成記念式典を挙行了。式典の準備はいずれも大変だったが職員の協力で無事終えることができた。

2011（平成23）年の東日本大震災の際には春台会館が避難所となり、職員も避難者への支援に協力した。新校舎に被害はなかったと思うが、図書館の蔵書が書架から落ちた。

11年間を振り返ると、旧お山の終わりと新市立高校の設立時に総務部の職員として関わり貴重な経験をさせていただいたと感謝している。総務部は、学校行事や儀式を準備・運営し、後援会やPTA、同窓会の事務局を務めるなど学校全体や関係諸団体との関わりが多く、生徒に直接関わることは少ない。しかし、行事や儀式の成功は学校全体を盛り上げ、一体感を強め、後援会、PTA、同窓会の活動の活発化はより強力な支援につながるだろう。これから地域や卒業生から期待と支援を受けて、後輩が充実した高校生活を送れることを願っている。



## 会費のお支払いについて

当会では、母校の発展に寄与することを目的に永続的な活動を行うため、ご卒業された同窓会員のみなさまに年会費1,000円、終身会費10,000円の納入のご協力をお願いしております。

現役の生徒たちがより一層活躍するためにも、なにとぞ主旨をご理解いただき、みなさまのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、会費の払込みについては下記の方法をご活用ください。

銚子市立銚子高等学校同窓会  
同窓会長 濱野恭一

## コンビニエンスストア・郵便局・スマホ決済でのお支払い

当会では、母校の発展に寄与することを目的に永続的な活動を行うため、ご卒業された同窓会員の毎年、当会より会員のみなさまへ送付する同窓会報に振込用紙を同封しております。お手元に届きました振込用紙をご利用ください。コンビニ決済、郵便局、スマートフォンアプリよりお振り込みいただけます。詳細は振込用紙の裏面をご覧ください。万が一会報が届いていない場合は、お手数でも同窓会事務局へご一報願います。次年度より会報を送付いたします。振込用紙を紛失した方は、郵便局での払い込みをお願いいたします。

（コンビニエンスストアでの払い込みはできません。）

振込先：ゆうちょ銀行 口座記号番号：00100-2-189041 口座名：銚子市立銚子高等学校同窓会

【お知らせ】終身会費納入者のお名前掲載について

平素より同窓会活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

これまで「同窓会だより」等において、終身会費を納入いただいた方のお名前を掲載しておりましたが、個人情報保護の観点から、今後はお名前の掲載を控えさせていただくこととなりました。これにより、会員の皆様の個人情報をより一層適切に取り扱うとともに、安心してご協力いただける環境づくりを目指してまいります。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

今後とも、同窓会活動へのご支援をよろしくお願い申し上げます。